

住田会長、相談役に 会長空席

岐阜信用金庫は11日、通常総代会と理事会を開き、住田裕綱会長(72)が同日付で退任し、相談役に就く役員人事を発表した。会長職は空席とする。

住田氏は専務理事、副理事長を経て、2016年に理事長に就任し、22年には会長に就いた。任期を迎えたため、退任した。

また河瀬光司監事室長が

常任監事に昇任し、監事にはフリーアナウンサーの草

野満代氏が就いた。杉原茂彦常任監事は退任し、顧問に就いた。坪井昌三監事は退任した。



河瀬光司氏(かわせ・こうじ) 滋賀大卒。88年入庫。融資部審査役、リスク統括部副部長などを歴任。24年4月監事室長に就任。



草野満代氏(くさの・みつよ) 津田塾大卒。89年日本放送協会入局。97年に退局。フリーアナウンサーとして活動する。57歳。